

【委員会名】研修委員会

【タイトル】新春講演会

【日時】平成20年1月23日(水) PM4:00~7:00

【場所】アンフェリシオン

【演題】「 どうなる今後の日本の政治と経済 」

【講師】岩田公雄氏（読売テレビ解説委員長）

【内容】

《講演要旨》

年頭からアメリカのサブプライムローンの破綻により株安が続いている。そのため、今年の日本経済を悲観視する向きもあるが、今年の前半は景況の低迷があっても夏頃からの後半には回復基調に転ずるのではないかなどの財界の大方の見方を紹介した。

一方、政局の最大の関心事は衆議院の解散総選挙である。今年3月の段階で4月解散の可能性がある。これは ガソリンの暫定税率 年金の名寄せ問題 予算成立の3つの問題を与野党が激しく対立すれば、福田政権は解散総選挙に打ってでる可能性がある。

また、4月の解散がない場合は、7月の洞爺湖サミット後の9月に開催の可能性を示唆した。同サミットで議長国として日本の環境問題への取り組みを世界に訴えたうえで、福田総理は政局の方向に向かい7月では準備期間がないので、9月に入ってからではないかというのが見方である。

岩田講師は最後に、日本人には勤勉さ、創意工夫という、昔から培った習性があり、加えて高い技術力があるから、日本人は自信を喪失する必要はない。日本人の特性を活かして経営を実践すれば自ずと道は開かれてくると結んだ。

引き続き行われた賀詞交歓会（税務親和会で主催）は、来賓及び税務6団体の各会員あわせて350名が参加して盛大に開催され、和やかな異業種交流の場となった。



講師の岩田公雄氏



サブプライムローン問題の影響は どうなる？



佐野会長



長岡 江東東税務署長



山崎 江東区長



総勢 350 名が参加した賀詞交歓会